

令和3年3月予算審査特別委員会

令和3年3月10日（水曜日）

◎ 出欠席委員氏名

東海林 信 弘 委員長 吉 田 芳 美 副委員長

出席委員（12名）

1番 丹野 貞子 委員	2番 東海林 信弘 委員	3番 齋藤 隆 委員
4番 木村 章一 委員	5番 吉田 芳美 委員	6番 榎 正義 委員
7番 石垣 光洋 委員	8番 細矢 誓子 委員	9番 阿部 恭平 委員
10番 松田 收作 委員	12番 佐藤 修二 委員	14番 岡田 桂司 委員

欠席委員（0名）

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

真木 邦弘 事務局 長 齋藤 淳 議事 係 長
竹屋 和典 総括 主任

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森谷 俊雄 町 長	河内 耕治 副 町 長
板坂 憲助 教 育 長	真木 吉雄 監 査 委 員
後藤 浩 総務課長兼 新庁舎建設課長	宇野 勝 政策推進課長
矢作 勲 税務町民課長	堀米 清也 健康福祉課長
秋場 弘昭 環境防災課長	増川 仁 農林振興課長併 農業委員会事務局長
佐藤 晃一 商工観光課長	須藤 俊一 都市整備課長兼 新庁舎建設課主幹
今部 憲治 上下水道課長	鈴木 淳子 会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長
石山 勝巳 教育主幹兼指導主事	大泉 雅志 学校教育課長補佐 兼 管 理 係 長
齋藤 順子 学校教育課長補佐兼 学校給食センター所長	牧野 隆博 生涯学習課長

◎ 委員会日程

令和3年3月10日（水） 本会議休会後

委員会日程第1号

- 1 臨時委員長の紹介
- 2 臨時委員長のあいさつ
- 3 予算審査特別委員会開会、開議

- 日程第1 委員長の互選
日程第2 会議録署名委員の指名
日程第3 副委員長の互選
日程第4 付託案件の審査、採決

議第11号 令和3年度河北町一般会計予算について

延 会

◎ 本日の会議に付した事件

委員会日程第1号のとおり

◎ 開 議

午後1時42分

○真木事務局長 ただいま予算審査特別委員会
設置されましたが、委員長がまだ定まってお
りません。したがって、河北町議会委員
会条例第8条第2項の規定により、年長委員
が臨時に委員長の職務を行うこととなります
ので、10番松田収作委員をご紹介します。

松田収作委員、よろしくお願ひします。

○松田臨時委員長 それでは、委員長が選出され
るまでの間、私が臨時委員長の職務を行いま
すので、よろしくご協力をお願い申し上げま
す。

本日の欠席通告委員はございません。

ただいまの出席委員数は12名であります。

定足数に達しておりますので、これから予算

審査特別委員会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の委員会日程はお手元に配付のとおり
であります。

○松田臨時委員長 日程第1、委員長の互選を行
います。

お諮りします。互選の方法は、指名推選に
よることとし、臨時委員長において指名する
ことにしたいと思ひます。これに異議ござい
ませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、委員長の互選につきましては、指
名推選とし、臨時委員長から指名することと
いたします。

それでは、2番東海林信弘委員を指名いた

します。

お諮りします。ただいま指名した2番東海林信弘委員を委員長とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、2番東海林信弘委員が予算審査特別委員会委員長に当選されました。

当選されました2番東海林信弘委員が議場におられますので、本席から当人に告知いたします。

2番東海林信弘委員の委員長就任のご挨拶をお願いします。

○東海林委員長 予算審査特別委員会委員長就任に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

ただいま皆様方のご推挙によりまして予算審査特別委員長という大役を仰せつかりました。誠に光栄とは存じますが、責任の重大さを改めて感じているところでございます。

予算審査に当たっては、町民の立場に立ってチェック機能を十分に生かし、皆様方の質疑が活発になるよう、また、スムーズな委員会審議となるよう心がけてまいりたいと思っております。何とぞ委員各位のご協力とご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

○松田臨時委員長 以上で予算審査特別委員会委員長の互選を終わります。

これで、私の臨時委員長の職務が終わりましたので、委員長と交代いたします。ご協力誠にありがとうございました。

委員長と交代の間、このまま暫時休憩いたします。ありがとうございました。

休 憩 午後1時47分

再 開 午後1時48分

○東海林委員長 休憩を解いて再開いたします。

本委員会の審査期間中、岸学校教育課長が欠席しておりますので、石山教育主幹兼指

導主事、大泉課長補佐兼管理係長、齋藤課長補佐兼学校給食センター所長、真木総務課長補佐兼総務係長、松田総務課長補佐の出席を認めておりますので、ご了承をお願いいたします。

○東海林委員長 日程第2、会議録署名委員の指名を行います。

お諮りします。本委員会に会議録署名委員を置くことになっております。会議録署名委員は委員長から指名したいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、本委員会に会議録署名委員を置き、委員長より指名します。

6番 榎 正義 委員

9番 阿 部 恭 平 委員

の両名を指名いたします。

○東海林委員長 日程第3、副委員長の互選を行います。

お諮りします。副委員長の互選については、指名推選とし、委員長から指名したいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、副委員長の互選につきましては、指名推選とし、委員長から指名することといたします。

それでは、5番吉田芳美委員を指名いたします。

お諮りします。ただいま指名した5番吉田芳美委員を副委員長とすることに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、副委員長には5番吉田芳美委員が当選されました。

当選されました5番吉田芳美委員が議場に

おられますので、本席から当人に告知します。
よろしくお願ひいたします。

○東海林委員長 お諮りします。本委員会の議事運営に関しましては、申合せ事項により質疑の回数制限は行わず、質疑は一括して行い、質疑時間は40分といたします。また、その他の議事運営は委員会条例及び会議規則、本会議運営に準じて行いたいと思ひますが、これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認め、そのように執り行ひますので、よろしくお願ひします。

○東海林委員長 日程第4、付託案件の審査、採決を行ひます。

本委員会に付託された案件は、

議第11号 令和3年度河北町一般会計予算について

議第12号 令和3年度河北町国民健康保険特別会計予算について

議第13号 令和3年度河北町西里財産区特別会計予算について

議第14号 令和3年度河北町農業集落排水事業特別会計予算について

議第15号 令和3年度河北町公共下水道事業特別会計予算について

議第16号 令和3年度河北町介護保険特別会計予算について

議第17号 令和3年度河北町後期高齢者医療特別会計予算について

議第18号 令和3年度河北町水道事業会計予算について

以上8議案であります。

委員長から申し上げます。

予算審査特別委員会でありますので、一般質問に類するような発言は避けてくださるようお願い申し上げます。

順次、審査を進めてまいります。

最初に、議第11号令和3年度河北町一般会

計予算についてを議題といたします。

質疑の順序は、歳出の1款議会費から4款衛生費まで、次に5款労働費から8款土木費まで、次に9款消防費から14款予備費まで、次に歳入全款及び調書等に区分して行ひます。

なお、質疑の際は、最初にページ、款、項、目、節を示して、質疑の内容を簡潔明瞭にお願ひいたします。また、答弁する側も簡潔明瞭に答弁をお願ひいたします。

それでは、1款から4款までの質疑の通告を求めます。

(1番、3番、4番、5番、6番、7番、8番、9番、10番、12番、の通告あり)

確認します。1番、3番、4番、5番、6番、7番、8番、9番、10番、12番。落ちありませんか。

(「なし」の声あり)

それでは、「1番丹野貞子委員」

○丹野委員 それでは、質疑をさせていただきます。

まず1点目は、36ページ、37ページ、2款1項1目一般管理費、いじめ重大事態発生時調査委託料の9万8,000円ですけれども、これにはどのような方が委員になるのか。そして、どのような過程を経てこの委員会が開かれるのか。そして、この令和2年度の状況、あるいはその前の状況というものをお知らせください。

次に、44、45ページ、2款1項5目の6若者・女性・町民総活躍推進事業ですけれども、一般質問でもしましたけれども、この研修費というものは、どのように活用をしてこの町民活躍の推進に役立てるのかをお願ひします。

3点目、48、49ページ、2款1項12目、特別定額給付金費、コロナの定額だと思ひますが、この内容をお知らせください。

次、66ページ、67ページ、3款2項1目、婚活支援事業委託料です。今回、11万7,000

円で増えましたけれども、この婚活支援につきましては、私の講読している「明日への選択」という本があるんですが、そこが議会だよりを検索していたようで、私が婚活の質問をしたときに、何か目に留まってインタビューを受けた記事が載りました。なので、結構全国から注目されている河北町の婚活支援ということでございますので、ぜひ力を入れて頑張っていたきたいと思いますので、この増やした分の活動の展開をお聞きしたいと思います。

それから、66、67ページ、放課後児童クラブ運営委託料、これも先ほど一般質問をいたしましたけれども、先ほどの町長の答弁で、公設民営で建物とか、そういうものはまず町でという基本姿勢というものを伺いましたので、そうしますと、やはり先ほど質問いたしました西里学童クラブの増築の部分とか、現在、谷地南部でプレハブをリースいたしました。その谷地南部のリース料はクラブと保護者が折半しているようですけれども、これも保護者のほうからそれはないんじゃないかというふうなことも出ているそうですので、ぜひこれは早急に対応をしまして、この5,825万2,000円の委託料だけでは足りないのではないかというふうに思いますので、このことについてお伺いをしたいと思います。

それから、3款1項4目の62ページ、63ページ、高齢者の居場所づくり事業費ですけれども、建築工事、溝延旧幼稚園が建築工事をするということで、溝延のなでしこ広場という高齢者の方も今、研修センターで、週に1回木曜日やっているんですが、とても楽しみにしているようです。とても夢を膨らませているようです。この高齢者居場所づくりのところ北谷地の樹木の何か管理もあるようで、この予算の中に北谷地が入っているということで、ちょっと北谷地の居場所づくりの活動

状況などもお聞きしたいと思います。

それから、74、75ページ、4款1項3目です。広域斎場組合のことですけれども、これは負担金を出しているということですが、最近、お葬式に行きましたところ、ホールの方が斎場で2市1町ですね、お昼のときにお昼ご飯を食べている町、市とかまちまちだということで、おかしいんじゃないかということでどうなっているのということです。このことについて対応をお聞きしたいと思います。やっぱり広域ですので、一貫した状況でやらないといけないと思いますので、このことについてお伺いします。

それから、環境衛生費、同じですけれども、来年度、家庭ごみの分け方・出し方ハンドブックというのが新しく出るそうですけれども、その下のほうにあります生ごみ密閉式処理容器の購入設置の補助金があるんですが、生ごみ処理のことが広報かほくで載っております。

そうしたら、買いたいわという人が出てきたので、やっぱり広報をすると効果があるんですね。ですので、この家庭ごみの分け方・出し方ハンドブックというところにもきちんとちゃんと河北町の出資が多いということも書いて、皆さんへの協力を呼びかけるようなハンドブックの出し方というものを考えているのかお願いしたいと思います。

それから、4款1項5目ですけれども、76ページ、77ページ。厚生文教常任委員会で議案調査したんですが、河北病院の人間ドックへの委託料10人分で、1日だと2万円、2日で10人分掛ける5万円ということで、大変いい委託料なんですが、委員会から出しましたのも、よく何が成人病センターとかとやっている健康診断と違うのか、大腸CTがあるからということで説明を受けましたけれども、本当にきちんとした内容を知らせないと、せつ

かく河北病院に応援をする予算でも伝わらないのではないかと。

町民が河北病院に行って、本当に健康診断、人間ドックを受けようと思うようなことのPRをしないと、せっかくのものも企画倒れになるのではないかと心配しておりますので、そのことについてもよろしくお願ひします。

以上、お願ひします。

○東海林委員長 「後藤総務課長兼新庁舎建設課長」

○後藤総務課長兼新庁舎建設課長 最初に2款1項1目一般管理費の中のいじめ重大事態発生時再調査委員会委員報酬に関してでありますけれども、こちらにつきましては、いじめ防止対策推進法に基づきまして、河北町いじめ防止対策の推進に関する条例というものを平成30年に条例化したしました。その中に定められているものであります。

いじめの防止を推進するという内容の条例でありますけれども、その中で、まず教育委員会の設置というもので、河北町いじめ問題対策連絡協議会というものを設置するという事になってございます。

その後、事案が発生しましたら、同じく教育委員会のほうの設置でありますけれども、河北町いじめ問題専門委員会というものの設置というものがございます。

そういったことを経まして、教育委員会を通しまして学校のほうから重大事案があった場合ということで、町長部局のほうに連絡がくるということになっておりますけれども、そういったことがあった場合には、町長部局の設置ということで、河北町いじめ重大事態再調査委員会というものを設置するという事になっております。

委員の構成でありますけれども、法律、心理、福祉及び教育等に関し学識経験のある者の中から町長が委嘱するという事になって

おりますので、そういったことがあれば、その都度任命するということになるかと思ひます。

状況ですけれども、今、申し上げた再調査委員会について設置した経過はないということでもあります。

続きまして、2款1項12目の特別定額給付金に関してでありますけれども、新生児特別定額給付金、子育て世帯支援定額給付金につきましては、令和2年度、今年度のコロナ対策として補正で盛り込まれた給付金というものになっております。

新生児特別定額給付金につきましては、国のほうの特別定額給付金、1人当たり10万円のものでありますけれども、基準日が4月27日ということになっておりまして、その次の日以降に生まれた方には該当しないというふうなことがありました。それを受けまして、4月28日から年度内に生まれた方ということと、あとは学年ということを考えまして、今年4月1日までということで、同じ学年になるわけでありますけれども、そういったことを支給の要件といたしまして、1人当たり同じ10万円を支給するというものであります。

同じく、子育て世帯支援生活給付金につきましても、今年1月1日現在で河北町に住所がある方で、18歳以下の方を対象としたということと、あとは1月2日以降7月1日まで出生した方、そして河北町に住所がある方ということ等の要件を設けまして、その子供1人当たり3万円を保護者の方に支給するという事業であります。

この2つにつきましては、4月1日生まれの方も対象にするということと、あとは届けといたしまして、年度を越してしまう子供も当然いらっしゃるだろうということがあるわけなので、来年度、令和3年度の予算についても7名程度の予算を確保しまして措置した

というふうなことであります。

○東海林委員長 「宇野政策推進課長」

○宇野政策推進課長 2款1項5目若者・女性・町民総活躍推進事業費の謝礼のところでございます。

1つ目の講師謝礼につきましては、男女共同参画計画を町民の皆様へ普及するため、講座の開催を予定してございまして、そのときの講師の謝礼を見込んだものでございます。

次の謝礼につきましては、男女共同参画計画を審査、検証する審査員の方への謝礼と、あとは女性団体連絡協議会、こちらのほうで研修いたしますので、このときの謝礼というものを見込んだものでございます。

○東海林委員長 「堀米健康福祉課長」

○堀米健康福祉課長 67ページの3款2項1目、まず婚活支援事業委託料でございますが、今年度よりも10万円以上ちょっと増えているところでございます。婚活事業につきましては、町の社会福祉協議会のほうに委託をしながら実施させていただいているところでございますが、いろんなイベントなんかに参加してはいるんですけども、町独自でこの婚活に対するイベント事業などを実施していきたいということで、増額をさせていただいているところでございます。

そのイベント等につきましては、いろいろと今、検討中ではございますが、必ずしも男女のマッチングというだけではなくて、あるいは自分を磨くための講座みたいな、そういったものもいいんじゃないかということで、今のところはいろいろと社会福祉協議会と話をさせていただいているところでございます。

続いて、その上にあります放課後児童クラブ運営委託料でございますが、先ほど基本的に公設民営だということではございますが、これは基本的なものでございます。それぞれの施設で建設、あるいは増築したものは全て

町では持つと、そういった意味合いではございません。

ただ、うちのほうとしましては、いわゆる溝延児童クラブにつきましては、町の施設を使っている、そのほかの3つの施設については、それぞれの施設を使っているということで、うちのほうでその分の使用料ということで支払いさせていただいているということは先ほど申し上げたとおりでございます。

そのほか、管理費ということで、24万円ほど出しております。年間80万円ぐらいの溝延クラブとの差はあるということで、そんな形でさせていただいているということでお願いしたいと思っております。

続いて、63ページに戻りますが、高齢者の居場所づくり事業でございます。

北谷地では茶の間北星さんという形で、今年度から実施させていただいているところでございますが、今年度については、4月と5月、コロナの関係で休業、お休みさせていただいたところでございます。6月から少しずつ再開させていただいて、半日単位で週1回という形をさせていただいているところでございます。

基本的には水曜日と土曜日の活動2回という形になるんですが、人数的に10人から25人、北谷地地区の方を中心に実施しているというような状況でございます。

77ページの河北病院の人間ドックでございます。

これにつきましては、河北病院、今年度から実施させていただいているんですが、河北病院への支援、そういったことを含めまして、人間ドックへの助成制度をさせていただきたいということでございます。

人間ドック1日コースと2日コースという形で2つあるわけでございますけれども、1日コースでは、特異なものとしては、胃カメ

ラの内視鏡検査とか、あるいは腹部の超音波検査、そういったものがございます。聴力検査もございますが、また、前立腺等の検査もあるようでございます。

それに加えて、2日コースになりますと、先ほど委員がおっしゃられました大腸CT検査とか、あるいはマンモグラフィ、こういったものも付随するような、そんな形の検査になっているところでございます。以上です

○東海林委員長 「秋場環境防災課長」

○秋場環境防災課長 74ページ、75ページの中で、衛生費の河北町ほか2市広域斎場事務組合負担金の関係でございませけれども、2市ということで、村山市と東根市と河北町とで広域斎場事務組合として負担をしているものであります。

その利用についてでありますけれども、ここ最近といいますか、コロナ禍において利用者の利用状況が少しずつ変わってきているところであります。そんな中、コロナ対策ということで、3密対策の周知を図っているところでございますが、言葉的な解釈の違いが少しあったのかと思われま。

飲食については、厳に慎むようにというような周知を図ってきたところでございますが、特に、村山市の2番窯というのは12時頃の火葬でありまして、その前後、じゃあどこで食事を取るのかというようなことも協議、議論されたところであります。

そんな中、厳に慎むということで、捉え方としては、個食対応とか、人それぞれ必要なのではというような解釈の中で、食事を取られている方もこれまではいたところでございます。

そういった状況を見ている構成市町の中でも、厳に慎んで飲食を取っていないというところと、おにぎり程度は大丈夫だろうという対応の中で取ってきたところとの差があり、

そこを徹底するという意味で、斎場の利用については人数の制限についても最大10人、そして、飲食、ペットボトル程度ということで徹底することを周知を図ってきたところでございます。

今後につきましては、その周知を徹底した中で、構成市町の中で、あるいは葬祭業者の中での対応が違わないような取組をしていきたいというふうな対応を今、取っているところでございます。

あと、同じページの中で、環境衛生対策費の生ごみ密閉処理容器購入費補助金でございませますが、その中でハンドブックの記載ということで、ハンドブックについては、同じページで印刷製本費の中に、家庭ごみの分け方・出し方ハンドブックの費用を盛り込んでいるところでございます。

生ごみ密閉処理容器については、確かにごみの減量化、水分をなくすということで大事な取組の1つでありまして、ハンドブックについても平成22年に作成したハンドブックは、これはクリーンピア共立で作ったハンドブックですが、生ごみ密閉処理容器のPR、周知も図ってきたところであります。

来年度、令和3年度そのハンドブックを作成するに当たって、今、生ごみ密閉処理容器の周知を図る意味でも紹介をしていくような検討をしていきたいというふうに考えております。

まだ、これからということでもありますので、そこは平成22年のときにも密閉処理容器の制度周知なども図りましたので、同様な内容、ごみの減量化に向けた検討を図っていきたくて考えております。

○東海林委員長 「1番丹野貞子委員」

○丹野委員 ありがとうございます。

まず、いじめ重大事態発生時の調査につきましては、分かりました。多分、これ毎年、

私心配で質疑させてもらっているんですが、平成30年にいじめ防止対策推進法ができてから、こういうふうな体制は取っているということで、何かがあったら、その都度、町長が委嘱をして対応をするということで、万全な体制を整えているということで分かりました。

それから、若者・女性・町民総活躍推進事業につきましても、講師の先生をお呼びして男女共同参画、そして女性団体の方を集めて、これから町民総活躍推進事業に対してやっていくんだということで分かりましたので、ぜひそうなるように頑張ってくださいと思います。

それから、特別定額給付金につきましては、分かりました。そうすると、令和3年4月1日までに生まれた方が対象ということですね。いいんでしょうか。

そうすると、この前の町長の提案理由の中で、1月までに生まれた人数が77人とあったんですけども、この令和3年、まだ生まれていないんですが、4月1日までにもう少し増える、母子手帳なんかで増える予定などは把握しているのか、もし分かればお聞きしたいんですけども。そうすると、今年度、令和2年度に生まれるお子さんは何人になるのか大体分かるということで、分かればお聞きしたいと思います。

それから、66ページ、67ページの婚活支援事業委託料につきましては、本当に河北町独自のイベントをして、自分磨き、男磨き、女磨きみたいことも入っているということで、これも頑張ってくださいたい事業です。

それから、放課後児童クラブの委託料ですけども、溝延児童クラブよりは60万円プラス24万円が多く出しているというふうな先ほどのお答えでしたけれども、溝延児童クラブは、町が貸しているの、委託料は出しているだけけれども、その分町に払っているとい

うことで、行ってこいでなくて、そういうふうなことで24万円といっても特に溝延児童クラブの中では町のものなので、修繕費とかは町で直すということなので、溝延児童クラブよりはいっぱい出しているということは、ちょっと違うのかなというふうに、そして、新しく増築とか、プレハブを借りているにしても、人数が増えたから借りるのではなくて、コロナの時代で1人当たり密にならないようにということで心配をして建てているわけですので、建てたからといって収入があるわけでもなくというふうなことで、要するに委託料、借りているお金が事業、運営施設長としたら、出費が出るということなので、委託料から人件費が減るというふうに考えられるのではないかと思うんです。それはちょっと公設民営をうたっているのには反するのかなと思って、もう一度お聞きしたいんですけども。

それから、3款1項4目の高齢者の居場所づくりは茶の間北星さんも頑張っているしやるなということで、それに居場所づくりができたことで、北谷地の方も、初めはあまり参加していなかった方がどんどん、いいところだなということで参加されているということは、この町の居場所づくりが成功しているんだなということで捉えております。

建設工事のことについて聞いていませんでしたが、大体スケジュールとしては、この予算が認められたら、いつから使えるようになるのかということをもう一度確認したかったです。

それから、広域斎場のことですけども、やはり村山市、東根市、河北町で対応が違ったということで、大変セレモニーの人たちが困惑したところがあったようで、やはりここは最初から統一しておくべきだったのかなというふうに思って、これから決めたというこ

とですので、やっぱりある程度徹底していくことが重要だと思いますので、周知をよろしくお願ひしたいと思ひます。

それから、家庭ごみの分け方・出し方につきましても分かりました。新しい平成22年度以来のハンドブックですので、やはり町民の皆さんによく読んでいただいて、ごみの仕分けをしっかりと、減量のこととか、ご協力をいただくことは大事だと思います。

あと、河北病院の人間ドック委託料ですが、やっぱり何かプリントをして、その1日コース、2日コースというものをお知らせしたほうが利用される方も分かりやすく、河北病院に行って人間ドックを受けようというふうに思うと思ひますので、そこら辺のところの工夫をよろしくお願ひしたいと思ひます。

じゃあ残りをお願ひします。

○東海林委員長 「後藤総務課長兼新庁舎建設課長」

○後藤総務課長兼新庁舎建設課長 2款1項12目の特別定額給付金費の中の新生児特別定額給付金でありますけれども、今年度の予算として十分な予算を確保したつもりでありますけれども、今現在ですが、母子手帳等確認して、これ以降の数値のものは把握しているものではありません。

○東海林委員長 「堀米健康福祉課長」

○堀米健康福祉課長 まず、放課後児童クラブ関係でございますけれども、この委託料につきましては、やはり県、国の補助事業でございますので、その基準に沿った中での委託料ということで、うちのほうではさせていただいているところでございます。

それに先ほども申し上げてございますけれども、自分たちの施設を使う、あるいは町の施設を使う、そういったある程度の差を見込んでおりますので、まず84万円ぐらいの差が

出てくるわけですが、その分については、これまでちょっと何年ぐらいになっているのか分かりません。二十七、八年ぐらいから実施したのか分かりませんが、そのぐらいの年数の中で毎年支出させていただいているということでございます。そんなところでございます。

高齢者の居場所づくり事業の建築でございますが、できるだけ早く、現在、確認申請等の提出中でございます。そういうところも含めて、できるだけ早く発注しまして9月頃には完成したい、10月には、下半期には新しく施設で活動していければなというふうには思っているところでございます。

河北病院につきましては、今年度、いろいろと河北病院でもホームページ等でPRさせていただいているところでございますが、予算が通りましたら、うちのほうでこういった補助事業があるということでの紹介はいろいろな形で、人間ドックの内容なんかも含めましてPRさせていただきたいというふうに思っております。

○東海林委員長 「秋場環境防災課長」

○秋場環境防災課長 74、75ページ、河北町ほか2市広域斎場事務組合負担金の中で、利用上の注意の周知の徹底ということでございますが、チラシを窓口等に配布をして、業者からも同様にという、一斉に行ってはいたんですが、その解釈の違いがあつてということでしたので、そこも担当者が実際に集まってその対応について協議をして、周知を図りましたので、今後については誤解のないようにということで、受け方の違いということで、認識の違いで対応がちょっと違うことには数日あつたようでございます。そこは徹底しましたので、今後ともしっかりと周知も改めて徹底していきたいというふうには考えています。

厳に慎むということで、捉え方が違うとこ

ろがありました。飲食をしないということを徹底するように、今、周知を図っているところでございます。

○東海林委員長 「1番丹野貞子委員」

○丹野委員 ありがとうございます。

やっぱり一緒にちゃんとしてくれというのが願いで、何かいろいろとせっかくその家にとったら一番の大事な家族のお葬式なので、それに携わる人たちがあまり不快な思いをしないように、やはり町といますか、行政の対応は大事だと思いますので、そのように徹底していただきたいと思います。

あと、学童クラブの施設のことなんですけれども、今、議論してもなかなかこのままだと思いますので、また今日のところは、納得はしていませんが、まず分かりました。終わります。

○東海林委員長 以上で1番丹野貞子委員の質疑を終わります。

ここで2時40分まで休憩といたします。

休 憩 午後2時26分

再 開 午後2時37分

○東海林委員長 休憩を解いて会議を再開します。質疑を続けます。

次に、「3番齋藤隆委員」

○齋藤委員 3点ほど質疑させていただきます。

まず、1点目ですけれども、38、39ページ、2款1項1目の自動車購入費ということで、ハイブリッド車の購入とあります。私も何回か一般質問で、やっぱりガソリン車はもう古いということで、ハイブリッド車に替えるべきだということで、あるいは電気自動車なども含めて環境に優しい車ということでやって、この間、ずっとハイブリッド車が増えてきているかと思うんですけれども、今回のハイブリッド車の購入で、現在、役場である公用車の何台ぐらい、今、ハイブリッド車になっているのか、台数を教えていただきたい

ということです。

2点目が、46、47ページ、2款1項8目、視聴覚用品ということで、カメラ付ドローン購入ということであります。8万8,000円ということで、かなり本当におもちゃに毛が生えたような感じのドローンです。あまり本格的なものではなくて、要するに上空から町の様子を撮ってホームページに上げて、町の魅力を発信するというようなことだと思っただけでも、そういった使い方、どのような使い方を考えているのか詳しくお聞かせいただきたい。

それから、3点目、最後ですけれども、66、67ページ、3款2項1目かほく安心子育て応援事業給付金ということで、今回の当初予算の1つの子育て支援の目玉と言ってもいいのかなというふうに思っております。非常に結構なことでもあります。

厚生文教常任委員会でも説明はありましたけれども、これまでの河北町児童手当、第3子以上の子供が満3歳に達するまでということで、年額2万円を支給していたものを廃止して、新たにこういった事業をやるということで、大変子育て世代にとってはありがたいことなのかなというふうに思っていますが、この財源をどういうふうに考えているのかお聞かせいただきたいと思います。

○東海林委員長 「後藤総務課長兼新庁舎建設課長」

○後藤総務課長兼新庁舎建設課長 2款1項1目一般管理費の自動車購入に関して、ハイブリッド車の状況ということですが、今、ちょっと調べておりますので、お時間をいただきたいと思います。申し訳ありません。

○東海林委員長 「宇野政策推進課長」

○宇野政策推進課長 2款1項8目視聴覚用品の購入、ドローンの購入でございますけれども、1つドローンを飛ばす際に、大きな基準がご

ざいます。重量が200グラムというところが非常に大きくございます。それによりまして、飛行制限が出てまいります。今回、200グラム以下のものを購入しようというふうに考えてございます。

その中で、使用の想定でありますけれども、やはり広報費で購入しますので、一番は広報の活動をバージョンアップさせたいというような思いでございます。そのほかに、今般起きました災害でありますとか、そういった活用も今後出てくるのかなという想定はしてございます。

○東海林委員長 「堀米健康福祉課長」

○堀米健康福祉課長 かほく安心子育て応援事業給付金でございますが、委員おっしゃるとおり、この今回の一番大きな事業であるというふうに我々も捉えているところでございます。今年度まで実施しておりました河北町の児童手当独自2万円につきましては、大体130万円ぐらいの財源的には事業費にはなるところでございますけれども、一応このかほく安心子育て応援事業と一緒に吸収したような形で支給させていただきたいということで考えております。

そのほか、第3子に対する支援については、副食費の無料とか、そういったものもございますので、そういったものを勘案してこのかほく安心子育て応援事業に集約させていただきました。事業費的に2,350万円ほどでございます。今のところふるさと寄附金を充当させていただいているところでございますが、今後とも状況はちょっと分からないところでございますけれども、この事業については、継続していく方向では考えております。

○東海林委員長 「後藤総務課長兼新庁舎建設課長」

○後藤総務課長兼新庁舎建設課長 失礼いたしました。2款1項1目一般管理費の自動車購入

の関係で、次世代といえますか、ハイブリッド車、電気自動車の台数でありますけれども、合計で8台ということになってございます。

○東海林委員長 「3番齋藤隆委員」

○齋藤委員 まず1点目、8台ということで、少しずつ買い換えていくということでもいいのかなと思います。この中で、これからハイブリッド車でなくて、電気自動車と、世界的には電気自動車というふうに流れがなっております。多少高くともやはり環境問題に配慮して役場が率先してそういったものを取り入れていくということが、環境対策としても非常に大事な視点ではないかなと。その辺のこれからの考え方、もし基本的なものがあればお伝えいただきたいと。

2点目ですけれども、ドローンということで、私も言おうと思ったんですが、災害などにも今後活用できるだろうということありますから、問題は性能というか、200グラムぐらいですとかなり小型だし、制限があまり限られてしまうということなんですが、時間にしてどの程度飛行時間可能なのか、その点もし分かれば、その性能も教えていただければと思います。

それから、3点目ですけれども、ふるさと基金を活用したいということなんですが、私心配なのは、継続もぜひやってほしいと思いますが、問題は、やっぱりふるさと納税がどの程度今後も収入があつて、それを基金に繰り入れて、そこからということですが、恒常的なものには基本的に使わないという1つのルールがあつたかと思うんです。

でも、その中で、これ以外にも例えば大きいものでは乳幼児の医療費の無料化、これにも基金を充てているということで、ちょっとあまりにもほかの事業も、今回かなり新規の事業でふるさと応援基金取り崩してというのがあつたんですが、考え方としてどうなのかな

と。

今のところはそれで何とかもっていますけれども、これが本当に継続的にできればいいんですけども、一旦それが崩れてしまうとせっかくやった事業が続かなくなってしまうことも考えますので、その辺のやっぱり恒常的なものに対してふるさと納税のお金は基本的には使わないというルールがあったと思うんですけども、これは現在、どういうふうになっているのか、詳しく教えていただきたいと思います。

○東海林委員長 「後藤総務課長兼新庁舎建設課長」

○後藤総務課長兼新庁舎建設課長 次世代自動車の将来の購入ということでありまして、環境基本計画の中におきまして、公用車における次世代自動車台数という項目があります。この中におきましては、平成29年度の現状値として5台ということと、あと目標年度として平成35年度、令和5年度になりますけれども、目標値として8台という目標が設定してありますので、この目標については達成しているということになるわけですが、これからの流れとしては、ハイブリッド車もしくは電気自動車ということになろうかと思えますので、値段としては多少高いと、リースするにも多少高いということがありますが、財源調整しながら、そういった方向にしていきたいと考えております。

○東海林委員長 「宇野政策推進課長」

○宇野政策推進課長 今回、想定しておりますものにつきましては、18分程度というふうな仕様になってございます。

ただ、バッテリーとかもついてございます。そういう想定でございます。

○東海林委員長 「堀米健康福祉課長」

○堀米健康福祉課長 ふるさと納税事業、寄附金の充当事業が結構あるところではございます。

ふるさと納税が開始されてから大分たつわけでございますけれども、ある程度安定した収入が得られているのかなというふうには思っております。そういった安定した収入を今後とも活用して、いろんな事業に充当していくというのも1つの特徴ある事業ができているというふうには考えているところでございます。

今後どうなるかということではございますけれども、そこら辺については検討課題でしょうか。そんなところだと思います。

○東海林委員長 「河内副町長」

○河内副町長 扶助費といいますか、子育て関係の支援の財源でございますが、ご質問のとおり、今はふるさと納税のご寄附いただいたものを原資として充当させていただいているところでございますが、今後、このふるさと納税制度がずっと続くという保障は当然ないわけでございますので、この制度が出た段階で充当の在り方について、今、3番委員おっしゃったように、恒常的なものではなく、臨時的なものの方がいいのではないかなというふうな話も内部ではしていたところでございます。

そういったことで、今現在、一定程度のふるさと納税応援基金、頂いた基金の一定の額の残高もございます。ですから、万が一にもいきなり国の方針、制度が変わってなくなったといった場合でも、1年間、あるいは2年は継続できるような状態を保ちつつ、財源等については、何らかの考え方を持って別の方法で充当していくというようなことも考えていかなければいけないというふうにも考えておりますので、ただ、それは毎年3年のローリング方式で財政計画などを示しておりますので、その中で示していければというふうに思います。

○東海林委員長 「3番齋藤隆委員」

○齋藤委員 1点目ですけれども、こういったハイブリッド、環境に優しい公用車ということで、今後、電気自動車なんかの導入も含めて進めていただければと。役場で使って、車を率先して使っていることになれば、町民にとってもやっぱり1つの目標になりますので、宣伝にもなりますので、ぜひそういった方向でやっていただきたいというふうに思います。

2点目ですけれども、ドローンについては18分ということで、そうすると、天候というか、災害なんかですと、例えば雨降ったりした場合なんかは、ちょっとなかなか飛行が難しいのかなというふうな感じはしますけれども、その辺はどうなんでしょうかね。ちょっとお聞きしておきます。

それから、3点目ですけれども、確かに今のところ財源としては安定的に入ってきているということで、心配はないと思いますけれども、やっぱり今後どうなるか分からないし、去年、今年も含めてですけれども、コロナ禍で巣籠もり需要なんかでかなり逆に米、ふるさと納税のほうが思うより減らないというか、結構伸びがあったということもありますので、何年かは続くと思いますけれども、将来的にどうかとなると、やっぱり問題もありますので、ぜひその辺の財源確保ということでしょうかり手当てしていただければと思います。

2点目だけお願いします。

○東海林委員長 「宇野政策推進課長」

○宇野政策推進課長 気象条件、そのときの一番は風かなというふうには想定しています。なお、この機械、今、見積り取っているものにはちょっとバッテリーが切れた際には自分で戻ってくるという機能もついているようでございますので、そういったところも加味して、あとは、もう一つは、これを操作する操作技能というか、こういったところも今後、研修を積んでいかなければならないというふうに

考えています。ちょっと天候については、そのときの状況によるかと思います。

○東海林委員長 「3番齋藤隆委員」

○齋藤委員 ぜひ操作についてはしっかりと操縦をマスターして、多くの人が、職員が使いこなせるような方向で、大いに活用して河北町をPRしていただければと思います。終わります。

○東海林委員長 以上で3番齋藤隆委員の質疑を終わります。

ここで委員長からお諮りします。

本日はこれをもって延会としたいと思います。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。よって、本日はこれにて延会とします。

明日3月11日は、午前9時までご参集願います。

お疲れさまでした。

午後2時53分 延会